さとうきび単収向上のための土壌改良技術

作土深と可給態窒素の両立が重要!!



作土深　とは、作物の根が主に分布する土の深さのこと。深いほど根が広がり、養分や水分を多く吸収できるようになる。土が固くなると根の分布が浅くなる。

可給態窒素　とは、土壌中の有機物が微生物によって分解され、作物が直接吸収できるようになった状態の窒素のこと。

特徴を知って使い分ける「有機肥料」と「化学肥料」

肥料の種類	有機肥料	化学肥料
メリット	○土の保水性・通気性が上がる ○地力向上につながる ○肥料焼けを起こしにくい	○養分のコントロールがしやすい ○即効性が高く、効果を実感しやすい
デメリット	△即効性が低い △強い臭いがある	△長期間連用すると土壌微生物が減りやすい △地力の改善には繋がりにくい

ワンポイントアドバイス　有機で土の体力を保ち、化学で手間を省く。2つの肥料を組み合わせることが大切です!

お問い合わせ　産業振興課　☎985-7134

農業委員会だより

農業委員会総会(許認可業務の審査会)が開催されました。
町農業委員会では令和8年9月25日久米島町役場において、令和8年度第6回農業委員会総会を開催し、申請のありました案件を審議しました。
①農地法第3条の規定による許可申請　→　2件　審議の結果許可されました。

許可申請書及び届出等の申請締め切り日　→　**11月16日(月)**
令和8年度第8回(11月)農業委員会総会の開催日　→　**11月26日(木)**

申請についてご不明点等がありましたら、農業委員会事務局まで連絡お願いします。

お問い合わせ　農業委員会　☎985-7134